



活動報告: 全国里親大会京都大会に参加しました

平成 29 年 9 月 30 日と 10 月 1 日の両日、京都市の京都テルサ（京都府民総合交流プラザ）を会場として「第 61 回全国里親大会京都大会」が開催されました。里親・里子と児童福祉の組織・団体および地元の協力者を合わせて 800 名を超える多くの参加者がありました。道内各地の里親会からの参加者は里親と里子を合わせて 21 名、うち中央地区里親会からは太田会長を含めて 10 名が参加し、研修と交流および子ども企画との有意義な二日間を過ごすことが出来ました。



会場の京都テルサ



開会式

9 月 30 日 13 時から開会式典の後、全国里親会長の表彰が行われ全国から 63 組の里親さんが、うち北海道からは 3 組の里親さんが受賞されました。引き続いて厚生労働省子ども家庭局の成松英範家庭福祉課長による「社会的養育の推進に向けて」と題した行政説明が行われました。平成 28 年における社会的養育の対象児童数は 4 万 5 千人で、登録里親数は 10,679 世帯、委託里親数は 3,817 世帯で里親に委託されている子どもは 4,973 人ということです。平成 27 年度末の里親等委託率は 17.5% で平成 22 年と比べると 5% 増えているが、今後はさらに里親委託の推進を図るために、里親制度の普及促進と里親支援の拡充が必要であり、今年の 8 月に取りまとめられた「新しい社会的養育ビジョン」に基づいて取り組みを進めていくことが話されました。また、参考として来年度に向けた概算要求の概要が示されましたが、詳しい内容については今後のニュースレターなどで報告したいと思います。また、文部科学省の学生・留学生課の八島崇課長補佐から「日本学生支援機構の奨学金について」との行政説明があり、新設された給付型奨学金についての概要および平成 29 年度以降の進学者に向けた無利子の奨学金制度の改正について説明がありました。



成松課長による行政説明



記念講演の湯浅さん

その後、「子どもの貧困と社会『われらの子ども』を育むために」をタイトルとした湯浅誠さん（法政大学現代福祉学部教授）の記念講演がありました。とすると私たちは「貧困」をアフリカなど開発途上国における「生命の危機を伴う絶対的貧困」を思い浮かべるけれど、OECD に加盟する先進国では「その国で当たり前となっている水準以下の生活にある相対的貧困＝所得格差」が問題となっており、日本の子どもは 30 ヶ国の中で 4 番目に高い貧困率にあること、「周りのみんなにとっては当たり前の生活が自分だけ享受できない」という状態は、子どもたちの心に大きなダメージを与えます。そして、「なんで、僕だけ？」を繰り返した子どもたちは、

そのうちに「どうせ、僕なんて」と思うようになります。そんな子どもたちに寄り添い支援の手を差し伸べることにについて、湯浅さんは経験を基に軽妙にかつユーモアを交えながら話してくれました。貧困の連鎖を断ち切るには、子どもだけでなく親への有効な支援が必要であることと、中でも支援の効果がすぐに現れるわけではなく、コップに滴り落ちる水が溢れるまでの時間がかかるという話しが印象的でした。

夜には大人と子ども約 500 名が集った交流会が催されました。子ども達の元気あふれるダンスで始まり、アルト歌手のソロ、フルートとトランペットの演奏、ユーモアいっぱい大道芸などが次々と披露される中で、賑やかで睦まじい一時を過ごしました。



広い会場がいっぱいの交流会

あなたの笑顔が見たいから

中央地区里親会



二日目は6つの分科会に分かれて、それぞれのテーマに添った発表とディスカッションが行われました。各分科会のテーマは、①チームワークによる家庭養護の実現をめざして、②子どもの自立～社会的養護のもとにある子どもたちを社会に送り出すために里親が出来ること～、③女性が自らの言葉で発信できる里親会活動、④思春期の特徴と対応を体験発表から学ぶ、⑤社会的養護経験者からおとなに伝えたいこと、⑥＜近畿地区里親研修会＞養子縁組の現状とあり方を考える でした。

大人たちが研修している間、小学生以上の子どもたちは「子ども企画」として、初日は琵琶湖畔の矢橋帰帆島公園、二日目は京都鉄道博物館へ行って楽しんで来ました。

来年の全国里親大会は金沢市で、11月17日（土）～18日（日）に開催されます。

活動報告：全国一斉里親制度啓発「One love キャンペーン」に参加しました

厚生労働省では、毎年10月を「里親月間（里親を求める運動）」と位置づけ、里親等委託（ファミリーホームへの委託を含む）を推進するための集中的な広報啓発を実施しています。また、10月4日は「里親の日」として様々なイベントが全国各地で催されています。

そんなイベントの一つとして、奈良県にあるNPO「日本こども支援協会」の呼びかけで、10月4日の「里親の日」に全国一斉に街頭でハートのチラシを配り、多くの方々に里親制度、子ども達の現状を知っていただく全国一斉里親制度啓発「One love キャンペーン」が実施されました。県庁や市、里親会で約50自治体から参加の申込みがあり、その他の団体やボランティアグループ、里親有志の方々を含めると全国107ヶ所でチラシの配布活動が行われたとのことでした。

私たち中央地区里親会も昨年に引き続いてこのキャンペーンに参加しました。昨年はJR北広島駅と大塚駅前で7時30分～8時30分の時間帯に配布活動をしたのですが、今年は江別市のイオン江別店の出入り口にてチラシと中央地区里親会のパンフレットを配布しました。11月中旬並みの冷たい風が吹き付ける中、佐藤夫妻（当別町）、井上さん（石狩市）、見上さん（北広島市）、水島（江別市）および里親支援専門相談員の門前さん、磯松さんが配布活動に参加しました。ご協力に感謝いたします。



お知らせ：「灯の会」から今後の予定について（佐藤奈月さんからの情報）

「灯の会」では毎年の恒例となっている「クリスマスの集い」を11月19日（日）に開催することで準備を進めていました。しかし、「中央地区里親会自立支援セミナー」と開催日が重なったため、別の日程を検討しましたが会場の確保が出来ませんでした。そのため、今年度の開催は取りやめとし、来年度に新たな企画を立てることとしました。期待されていた方や子どもたちには申し訳ありませんが、次回のご案内を楽しみにお待ち頂けますよう、お願いいたします。

あなたの笑顔が見たいから

中央地区里親会

北海道中央地区里親会事務局 担当：水島 俊一

連絡先：069-0853 江別市大塚高町18-4 Tel & Fax：011-387-8765, Email:kitanezumi@gmail.com



活動報告: 「第 67 回いしかりミナミナ会」の報告 (田中明希さんからの情報)

月日: 平成 29 年 9 月 12 日 (火)、場所: 石狩市花川北コミュニティセンター 2F 視聴覚室
 時間: 9 時 30 分～12 時 30 分、出席者: 石狩市子ども相談センターから宮森さんと小黒さん、里親支援
 専門相談員の門前さんと磯松さん、託児担当の土谷さん。会員は大人が 17 名、子どもが 1 名でした。

なお、後志から赤井副会長が里親サロンの運営について見学するために参加されました。

宮森さんから放課後児童クラブの時間延長については、延長よりは家庭を大事にしていきたいという方針であること、児童館は 19 時までの延長や「あいぽ〜と」などが利用できることが報告されました。

質疑応答 Q: 里親や子育て中の親が何でも相談できる部署や担当者の配置は、役所で可能なのか?

A: (佐藤さん) 子育て支援センターのチラシ有。教育支援センターにはスクールカウンセラーがいること、子ども相談センターがあることが説明された。

その他 ☆ 赤井さんからサロンの運営について相談があり、会長や初期メンバーの高橋さんから経験談や助言がありました。

☆ ミナミナ会レック開催: 10 月 28 日 (土) 10:00～13:00、アースドリーム角山農場
 参加申し込み: 10 月 21 日 (土) まで門前 様まで。

☆ 書籍紹介: 「日本の教師、その 12 章」～困難から希望への道を求めて～ 久富善之著

☆ 次回は森先生の講演後にクリスマス会などの打ち合わせ (弁当持参)

子育て近況報告

※ 次回 (第 68 回) は 11 月 14 日 (火) ミナミナ会 「子育て相談」

講師: 石狩市教育委員会生涯学習部教育支援センタ特別支援教育担当課長 森 朋代 先生

※ クリスマス会 12 月 9 日 (土) 10:00～15:00 石狩南コミュニティセンター

お知らせ: 「中央地区里親会・電話相談窓口」の担当相談員を紹介します

本当につらい時には、なかなか相談が難しいもの… でも、誰かに話を聞いてもらうだけで気分が楽になることもあります。6 月の総会において、里親どうしの立場で気軽に悩みや困り事を話せる場として「中央地区里親会・電話相談窓口」の開設が決まりました。今日は相談窓口の担当相談員を紹介します。

悩みや困り事を聴き、一緒に考えて話し合う中で、問題が小さなうちに摘み取ることを目標とします。一人で悩まずに、どうぞ気軽に電話をかけてください。



菊地 修二 さん (古平町) 相談受付電話番号 080-****-****

里親登録年 昭和 63 年 9 月、これまでに受託した里子数 5 名

相談希望者への一言 「現在、福祉事業に従事しながら夫婦で知的障害者グループホームに同居しています。子どもたちも同じ屋根の下で育ちました。多くの経験はありませんが、気楽に連絡いただければ幸いです。一人で悩みを抱えないように、少しでもそのお手伝いが出来たらと思っています。」



加藤 京子 さん (赤井川村) 相談受付電話番号 0135-**-****

里親登録年 平成 11 年 8 月、これまでに受託した里子数 4 名

相談希望者への一言 「保育所や託児所と違い、里親は 24 時間ともに生活をします。生活しながら投げかけてくる子ども達のメッセージをどう受け止めてどう返すか、里親でなければ分からないことが沢山あります。里親同士がスクラムを組んで、せっかく預らせていただいた子ども達と楽しく過ごしていきましょう。」



中谷 孝幸 さん (石狩市) 相談受付電話番号 080-****-**** (0133-**-****)

里親登録年 平成元年 これまでに受託した里子数 23 人

相談希望者への一言 「一人で悩まないで！」

あなたの笑顔が見たいから

中央地区里親会